ティー・ネットひろば
T·NET 広場

国際社会で「生きる力」を
～総合単元的学習の取り組み～

［報告者］
徳島県板野郡
松茂町立喜来小学校
松尾みゆき 教諭

松茂町立喜来小学校の6年生29名が、国際社会で心豊かに「生きる力」を育むことを目標に、それぞれの個性を生かし主体的に活動できる体験学習にのぞみました。国際理解教育というテーマをもとに各教科を関連付け、国際協力を仕事とする人との交流、ユニセフ募金活動などの体験を効果的に盛り込みながら平成10年度におこなわれたこの総合単元的学習は、総合的な学習の時間として現在に引き継がれています。

総合単元のねらい

総合単元名
「ユニセフの活動に協力しよう」

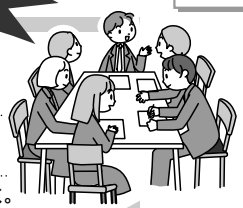
① 青年海外協力隊やユニセフの活動に興味をもつ。
② 青年海外協力隊の体験者の方との交流を通して国際協力に関心をもつ。
③ ユニセフの募金活動で主体的に広報活動をする。
④ 自分の生活を振り返り、国際社会の中での自分の生き方を考える。
⑤ 世界の人と共に生きる心をもって国際協力、親善の意欲をもつ。

総合単元の構想図

ユニセフの活動に協力しよう

かっこの数字は授業時間・総時間32時間

Jump into JICA	道徳（1）「世界の人と共に」	ねらい 世界には多様な環境のなかで生活している子どもがいることに気づき、国際親善や国際協力の意欲を高める。
	社会（1）「青年海外協力隊の活動について知ろう」	教科書や資料で青年海外協力隊の活動例や概要について知る。
	（6）交流学習	青年海外協力隊の体験者から体験談を聞く。 ●ザンビア ●ドミニカ共和国 ●タンザニア ●ベトナム
	道徳（1）「国境を越えて」	資料 交流学習の児童の感想文 ねらい 文化や生活が違っても人の尊厳は同じであることを理解し、尊重し、協力して生きていく意欲を高める。
ユニセフの活動に協力しよう	社会（1）「ユニセフの活動について知ろう」	教科書や資料でユニセフの活動例や概要について知る。
	特活（2）体験学習	◆ユニセフ募金　広報活動 ポスターや募金箱、パンフレットなどを作り、校内や地域に掲示して募金を呼びかける。
	体育（4）	◆ユニセフ募金　おどりの発表による広報活動 松茂町国際交流協会の「世界の踊りフェスタ」に出演し、場を借りて募金の広報をする。
	特活（2）	◆ユニセフ募金　集計
	裁量（4）	◆ユニセフ募金　結果報告とお礼状作り ポスター、パンフレットを作り、校内や地域に掲示して募金の集計結果を報告し、感謝の気持ちを伝える。
	道徳（1）「活動から学んだこと」	資料 ユニセフ活動についての児童の感想 ねらい 自分が活動したことが世界の子どもを助けたことを実感させ自尊感情を育て、国際親善、国際協力の意欲を高める。
世界の人と共に	図工（6）「活動を思い出に残そう ― 卒業制作『世界の人と共に』」	1年間を通した国際理解学習を卒業の記念に残す。 ●自分が着たい民族衣装を決める（リサーチ活動） ●それぞれが木工制作する。 ●全体をまとめて1つの作品にする。
	道徳（1）「地球人として」	資料 児童の感想 ―「心のファイル」を振り返って― ねらい 地球人として、互いの人権を尊重し、協力して共に生きていく意欲を高め、私たちの地球の未来を考える力を育てる。

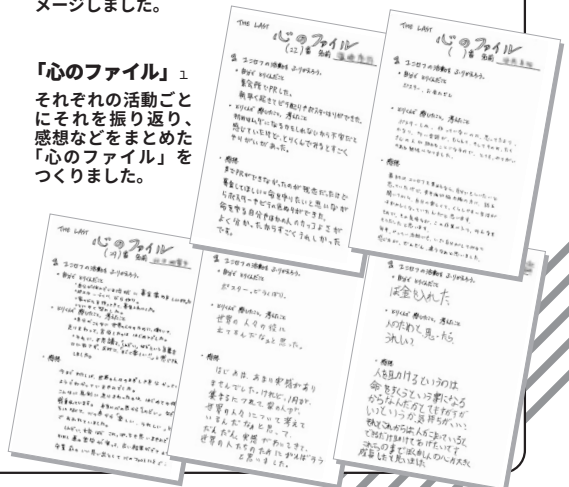


みんなで工夫してつくった募金箱1
募金を呼びかけるためのポスターやちらしをつくるために、子どもたちは主体的にリサーチ活動を行いました。その結果、募金の必要性や自分がなぜ募金活動に協力しているのかを、家族や地域の方に説明することができ、多くの協力が得られました。

集まった募金をみんなで集計しました。1
総合単元でユニセフ募金を呼びかけなかった昨年に比べ約4倍以上の募金（81770円）を集めることができました。子どもたちも自分の活動に満足し達成感をもちました。

卒業制作「世界の人と共に」1
個々の児童が活動の中で思い出に残ったり、思い入れのあった国、民族の衣装を着た自分の木製の人形のレリーフをつくりました。背景の虹は世界平和や多様なもの、人の共存をイメージしました。

「心のファイル」1
それぞれの活動ごとにそれを振り返り、感想などをまとめた「心のファイル」をつくりました。



まとめ

青年海外協力隊の方との交流がユニセフ活動にすばらしい影響を与えています。団体はちがっても目的、心は同じだからでしょうか。

アフリカ（タンザニア・ザンビア）、中南米（ドミニカ共和国）、アジア（ベトナム）での体験談を聞くことができ、交流を重ねるほどに児童の理解や考えが深まっていくのを実感しました。

当初、単元に入ったとき児童は「募金をすればいい」という答えを安易に出していました。開発途上国の人の生活や生き方を「かわいそう」といったネガティブなとらえ方でしか見ておらず、自分たちは優位者の立場をとっていました。しかし、厳しい現実の中で助け合い、心豊かに生きている人びとの話を聞いて、児童たちは今までの自分の考えを恥ずかしく思い、また募金することの意味を深く考えず、ただお金を出せばよいと考えていたことにも気づきました。大切なことは何か、豊かさとは何かを考え、自分の生き方を振り返ることができました。